

新入会員のご紹介

水戸支部
皆川工業(株)
業務総括責任者
平塚 裕さん

水戸支部
(株)ホシノキズナ
代表取締役
桑名 武之さん

社員と共に成長し、会社を維持発展させていくために、同友会で学んでいきたい

時代の流れに対応しながら、変化し続ける企業でありたい。

5名の方が
入会されました!

日立支部
オリックス
生命保険(株)
原 正紀さん

異業種の経営者の皆さん
と切磋琢磨していきなさい

日立支部
マルナカ水産(株)
代表取締役
仲田 忠弘さん

会員は
辞書の
1ページ!

日立支部
(株)松原組
代表取締役
桑原 由佳さん

例会で実践している人たちのやり取りに刺激を受けた。新事業もスタートするので、毎月例会に参加し、しっかり学んでいきたい

日立支部
代表取締役
仲田 忠弘さん

例会で自社の事業定義を考えると、というのが素晴らしいと感じた!自分も茨城同友会で勉強していきたい

気になるあの人、あの会社。QRコードより会員企業のホームページもご覧ください。

自社資源を活用し、業態変化を続けながら時代に 対応し続ける企業

水戸支部 (有) 鍋屋本店
代表取締役
小田部 伸さん
【飲食サービス業】

- 経営資源を再活用、進化させた芋スイーツ専門店
- お菓子な果実シヨコ販売
- 自社事業+観光で新事業を生み出す

お客様の人生に関わる相談に応える不動産会社

水戸支部 桂不動産(株)水戸支店
支店長
金山 勲生さん
【不動産業】

- 競合他社が嫌がる物件の保有・対応
- 看板戦略によるPR
- ロコミへのこだわり

時代の変化に対応するため、新たな一歩を踏み出す 100年企業

水戸支部 (株) かくどう
代表取締役
小倉 克夫さん
【印刷物全般・動画編集】

- マジックQRコード導入
- 印刷会社というイメージを払拭するための社名変更
- 動画編集事業へ参入

茨城県内の映像制作・広告関連事業の未来を変える会社

水戸支部 (株) パブリックアート
マネージャー
関口 裕輔さん
【映像制作】

- ラッキーフェスで映像配信のノウハウを蓄積
- アーティスト・YouTuberのライブ配信
- ゲーム会社の生配信

会員企業紹介

お客様満足が一番に考えた商品とサービスを提供する飲食店

水戸支部 (株) J&K
代表取締役
倉本 理沙さん
【韓国家庭料理・炭火焼肉】

- お客様第一の商品提供
- 地元企業との新商品開発
- 冷凍食品販売のための設備投資

豊富な経験と知識で、お客様の夢や希望を具現化する企業

県央海浜支部 (株) スリーケイデザイン
代表取締役
久保木 祐介さん
【外構・エクステリア
デザイン設計業】

- 自社内外の組織力強化
- ターゲットを絞った戦略
- 新規事業へ参入予定

地元食材を生かし、地域を豊かにする飲食店

水戸支部 大黒家
料理長
坂 雄一さん
【和食割烹・飲食業】

- 宴会・法事・地域密着需要増
- ネット販売に向けた設備導入
- しじみらめんを特産品として売り出す準備

社員と共に自社の強みを生かして現状を打破する農家

水戸支部 (有) アクト農場
取締役
関 崇宏さん
【農業】

- 小売関係の顧客拡大に着手
- 農業規格【ASAGAP】を取得
- 有機JAS取得・消費者へのPR

子どもたちが「人生を切り開く力」を育む企業

ドラゴン支部 (株) Kids Creation
代表取締役
宮嶋 さやかさん
【教育・英語幼児教室】

- 学童保育の為に古民家購入・改修
- 「CultureBook」制作
- 同業との横連携で業界全体変革

看板と伊勢エビ漁の二刀流で新事業に乗り出す企業

日立支部 ビーライン
代表
小野 二三男さん
【看板・印刷】

- 新事業の開始に向けて市場調査
- キッチン車でイベント巡り
- 伊勢海老漁師で看板屋という自社の付加価値

茨城県内業界ナンバー1を目指すプロ集団

水戸支部 (株) テックサーベイ
代表取締役
高安 勝利さん
【土地家屋調査士業】

- 図面精度と対応スピード水戸市内No.1
- テックサーベイにしか出来ない技術力の磨き上げ
- 顧客からのリピート率の高さ

No.324 2023年7月1日

DOYU IBARAKI



発行:茨城県中小企業家同友会
〒310-0851 水戸市千波町1918 セキショウウェルビーイング福祉会館3階
Tel:029-243-8230
Fax:029-243-7225
Mail:info@ibarakidoyu.jp

第24期経営指針を創る会

【第2講】2023年6月17日(土)
セキショウウェルビーイング福祉会館にて



どのような想いで今期受講を決めたのか。会社をどのようにしていきたいか。理念とビジョンは、込めた「想い」が重要。

そのためには今の自分・過去の自分と真摯に向き合う必要があり、それが経営指針前半で最も大切なことである。受講生は自分自身の心と対峙し、委員08はその心に寄り添い、「問いかけ」によって「気づき」を促す。受講生だけでなく、委員08も謙虚に誠実に真剣に向き合う第2講でした。



フィードバック研修会

2023年6月13日(火) 19:30~
セキショウウェルビーイング福祉会館にて

型を知って、経営者と会社の明日をちょっとよくするフィードバック入門

この一年、各支部例会の中で取り組んできた「フィードバック」言葉自体はよく耳にするものの、解釈について悩まれた方も多かったかと思えます。かくゆう私も皆様の疑問に対应的を得た回答ができませんでした。解決のきっかけになればとの思いで(研究会)を開催しました。フィードバックを取り入れていこうとしたきっかけは、互いに成長発展を望む関係のなかで個々の能力を最大限に引き出し組織の力の引き上げに最適な仕組みだと知ったからです。紙面の都合上ここでは詳細は割愛させていただきますが、純粹に互いの成長を思いあう文化のある同友会例会との相乗効果は自身の考える以上にありそうだと感じました。参加された支部幹事のみならず各支部への伝達よろしく願いたします。(レポート:菊池 剛さん)



第26回女性経営者全国交流会in福岡

2023年6月22日(木)~23日(金)
リーガロイヤルホテル小倉にて

今回、女全交過去最高の参加者 907名
リアル参加47都道府県全部が揃った交流会となりました。

女全交だからこそ得られるの学びは?

- ★1 存在意義の再確認
 - ★2 刺激し合い共に成長していく仲間の拡大
 - ★1-3 思考の柔軟性
 - ★2 多様化に対する取り組み
 - ★2-2 人間尊重を形に、次世代に残すべきこと
 - ★2-3 男女共同参画社会を目指し、自社が取り込むべきもの
- (レポート:宇田川真由美さん)



今を、私は生きている。だから常に可能性を求め、出逢った仲間とともに、自分の人生を悔いなく生きていきたいのです。



5月例会報告

例会参加申し込みは
e.doyuから！！



日立支部

5月10日(水) ホテルテラスザスクエア日立
報告者:永岡 誠司さん (有)エターナルコーポレーション 代表取締役
『資源が先か、戦略が先か』



自社にできて、自社にできないことは何か。中小企業が、少ない経営資源の中で生き残っていくために大切なものは何か。紆余曲折、試行錯誤を繰り返しながらも、10年ビジョンを2年早い8年で達成できたのは、ビジョンに向かって実践し続ける永岡さんの行動力の賜物。
自社の目的と目標を今一度考え直してみてもいかがでしょうか？また、今回の例会は参加者51名、内ゲストが21名も参加され開催されました。会員だけでなくゲストが多数参加されたことにより、グループ討論だけでなく懇親会までも今まで以上に熱量あるものとなりました。集客が先か、例会が先か…。日立支部への入会も続いています。この流れをとめず、継続して本質を捉えた例会づくりに取り組んでいきます。
(レポート:高橋秀幸さん)

5/7(水)18:00
日立ビックセンター
報告者:金井雅明さん

県央海浜支部

5月25日(木) ひたちなか商工会議所 (Zoom併用)
報告者:阿久津隆男さん (株)ソフナーズ 代表取締役社長
『新卒採用と企業の成長の先に』



阿久津さんが特に実践されている、同友会理念の「社員は最も信頼できるパートナーと考える」これを心から本気で実践されている方は茨城同友会の中でもなかなかいないと思います。もちろんそれだけでは経営は成り立たないのが現実。やり方や数字ばかりを優先していたり、あり方が独善的だったり、表面上のお飾りだったとしたら最悪です。論語と算盤の「両輪」のバランスは非常に難しい。
そして、その先にあるのは、関わる人達が際限なく「成長」しているステージだと思います。「成長」とは際限のないもの、人の限りない可能性の探究だと思っています。(自社社員だけではなく地域社会構成員、同友会の同志も)経営指針も実現のための手段だと思えます。
ところで、会社のフェーズであると思うんです。マズローの5段階欲求のようなものは、個人だけでなく会社にもあてはまると思いませんか？平時が有事か？成長軌道が踊り場か下降状態か？適した組織は、トップダウン、ボトムアップ、フラットか？それにあった採用と共有とは？を考えさせられました。

社員の成長とは？経営者の成長とは？社員の幸福とは？経営者自身の幸福とは？と際限なく広がってしまうから、テーマに戻さなきゃねといった例会づくりは非常に楽しく次に繋がっていくものだと思えます！！というわけで、みんなで成長パターンのロールモデルを目指しましょう！(レポート:鈴木大介さん)

7/20(月)18:00
ひたちなか商工会議所
報告者:大月章子さん

水戸支部

5月24日(水) 株式会社・ウェル・インク 福祉会館
報告者:小貴光弘さん (株)SLOW JAM 代表取締役
『注文の多い洋品店の店主が実践する3つの戦略』



不器用で人見知り。でも素直でバカ真面目。そんな小貴光弘という人間が、愛おしくて仕方がありません。
前職への反抗心から独立。順風満帆にいくはずだったのに増えていく借金と在庫。社員に対する強烈な嫉妬。大好きだった仕事はいつか苦しみに変ってしまいました。
何をやってもうまくいかない、何をどうして良いかわからない…そんなとき出会ったのが同友会の「経営指針を創る会」でした。数多くの課題と重圧、しかし真面目さと一生懸命さで取り組む中で見つけた一筋の光。それが「ファッションの力で輝きと元気をお届けします」という経営理念でした。この理念が道標となり、現在3つの挑戦を実践中との報告をいただきました。
例会に向けての作り込みでも何度も壁にぶつかりながらも逃げずに向き合っていました。その真摯な姿勢と経験は、自社の理念とビジョンに更に確信と覚悟を持つことができたのではないかと思います。
SLOW JAMの将来と、経営者小貴光弘の未来に心から期待します。
(レポート:石井邦明さん)

7/26(水)18:00
福祉会館
報告者:山野英治さん

南西支部

5月23日(火) つくば研修支援センター (Zoom併用)
報告者:宇田川真由美さん (株)あおば 代表取締役
『同友会は経営者の宝宝箱 “欲しいものは、自分でとりにいく”』



「同友会は経営者の宝宝箱」という宇田川さん、同友会入会当初は例会にも参加しない、他の会員とも交流しない、そんな状態だったそうです。それが、心としたことから熊本県で開催された女性経営者全国交流会で報告することになりました。全国交流会では創業から同友会入会まで、自分の経営でうまくいかなかったこと、それをどう乗り越えたかなど、そして「あなたに逢えて 本当に良かった！」と利用者から受け取った一言が自社の経営理念になったことなどを報告しました。この交流会の報告は参加者から大絶賛を受けたのです。また、これがきっかけで全国の経営者との接点もできました。そこから、宇田川さんの宝宝箱探しが始まったのです。常に経営と向き合い、今の自分に、今の自社に何が足りないのか、そしてそれを解決するにはどうすべきか、経営者の視点を持ち、全国の同友会を訪ね歩いたのです。同友会は学ぶだけのところではない、自社の発展につながるものを一つみ取るところだととらえる宇田川さん、同友会は宝宝箱、つかみとらない理由はない。そう叱咤激励を受けた南西支部例会でした。
(レポート:高谷豊さん)



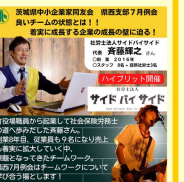
7/25(火)18:00
つくば市役所コミュニティ棟
報告者:青木恵之さん

県西支部

5月29日(月) 境町商工会館
報告者:筑波洋海さん (株)筑波材木店 専務取締役
『付加価値を高める！』



9月に青年経営者全国交流会で報告する予定の「付加価値を高める」をテーマに報告いただきました。家業を継ぐために戻ってきた筑波さんを待っていたのは、人口減少、新築着工数減少、ホームセンターの市場参入など、材木業にとって厳しい状況と、社員との確執、そして、社長との対立でした。一つ一つを乗り越えようと全力を尽くし続けた筑波さんの気づきと、そこから生まれた、追加の投資なく利益を出す方法・事例とお話いただきました。
G討論では「心揺さぶる付加価値の伝え方」として、付加価値とは何か？既存価値との違いは何か？といった、価値提供する我々にとって重要な議論が交わされ、価値について、改めて考え直す機会となりました。
ここで得たヒントを元に、付加価値を高められる会社とはなにか、改めて考え、実践に移っていきましょう。
(レポート:高橋真澄さん)



7/19(水)18:00
坂東市商工会館
報告者:斉藤輝之さん

ドラゴン支部

5月11日(木) 牛久市商工会館
報告者:池田裕児さん (有)歌舞伎あられ池田屋 代表取締役
『池田屋の苦悩』



今回の例会は池田さん自身の悩みが解決されていない状態で開催したので、みんながどう考えているのか意見を欲しいとのリクエストから、問題定義をして池田さんに提案するような形式で例会を進めました。
座長のまとめでは私の考える「ありたい会社の姿」=心地よい組織であるための社長の役割、をまとめとさせていただきました。
1 個々が安心して活躍できる土壌を作る事。心理的安全性を保つ事のできる場所こそ個々の能力が発揮できるので、その土壌を耕しながらもできる雰囲気、社員同士が「スペース」し合える風土作りを努める。
2 社長の思いを伝えるのではなく、伝わっているかの確認作業を大切に。まめなコミュニケーションを取ることで、スタッフとずれのない対話ができ、結果心地よい組織がつけられる。
例会の最後に、何事も「愛」。愛をもって従業員と接する」との結論を池田さんは出されました。
(レポート:河井美歩さん)



7/21(金)18:00
牛久市商工会館
報告者:筑波洋海さん

全国大会のお知らせ

7/13(木)~7/14(金) 中同協第55回定時総会in埼玉
8/22(火)オンライン 2023組織強化・会員増強全国交流会
8/31(木)~9/1(金) 2023経営労働問題全国交流会in山口
9/14(木)~9/15(金) 第51回青年経営者全国交流会in広島



他県同友会でも類を見ない事務局完全手作りの茨城同友会会報誌。昨年度からはカラー印刷にもなり、同友会活動を「読む」だけでなく「見て」感じてもらえるようになったと思います。そして2019年9月号から書き始めた編集後記。気がつけば3年以上…。お気づきかもしれませんが、最近書くスペースが無いやつまりそれだけ茨城同友会の活動が活発になり、載せるべき内容が増えたということ！！例会報告が毎回6支部揃い、県事業も内容だけでなく参加された会員のリアルな表情をお写真でお伝えできる。新入会員のご紹介も増え、会員企業紹介は間に合わないほど！！作成して1ヶ月を振り返りながら思い返すのは楽しいし、お届けしたい事がたくさんあるのはなにより嬉しい！！けどちょびり淋しいので、わりやりにでも隙間を作って編集後記も書き続けていきたいです。(Shimo)